



Junior Drive
Shiraishi Racing School

REPORT 報告書

10月10日 (月) 岡国フォーミュラトレーニング
10月24日 (月) 岡国フォーミュラトレーニング
10月25日 (火) 岡国フォーミュラトレーニング
10月31日 (月) 舞洲フォーミュラトレーニング

10²⁰²² OCT





22℃

Track
OKAYAMA

Driver
Yusuke Okano

★トレーニングプログラム

- 11:40～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 11:50～ フォーミュラ走行枠① 60分 ドライバー：Yusuke Okano
- 13:00～ ロガー & 車載映像 解析
- 14:00～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 14:10～ フォーミュラ走行枠② 60分 ドライバー：Yusuke Okano
- 15:20～ ロガー & 車載映像 解析
- 16:20～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 16:30～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー：Yusuke Okano
- 17:10～ ロガー & 車載映像 解析
- 17:30 解散



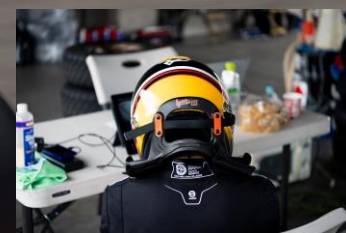
初のクラッシュを経験

2期生の岡野がトレーニングに参加しました。この日は1時間枠が2回と30分枠が1回の合計150分の走行時間があり、岡野にとっては走行マイレージを稼げる絶好の1日になるはずでした。

前日までの雨も上がり完全ドライコンディションの中、セッションが開始されました。1枠目の固くて冷えたタイヤで出ていくのは初めての岡野。1周目のブレーキングで大きくロックアップするなど、グリップの無さに苦戦している様子でした。20分を過ぎたところでドライビングのログ解析と休憩のためピットイン。今の自らのドライビングの状況を把握して、再度コースインしました。

しかしセッション残り5分のところで、ターン2でコーナーを曲がり切れずバリアに衝突。自身初のクラッシュをしてしまいました。セッションは赤旗となり、これで終了となりました。マシンのダメージも大きく、これにてこの日のトレーニングは終了となりました。長い1日を考えれば、まだまだ前半の出来事でしたので、岡野にとっては非常に勿体ない日となりました。

この日の経験を今後のレースキャリアに活かしてほしいです。





Track
OKAYAMA

Driver
Yuzuki Miura/Yuma Sugita

★トレーニングプログラム

- 12:55～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 13:05～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー：Yuzuki Miura
- 13:40～ ロガー & 車載映像 解析
- 14:05～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 14:15～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 14:50～ ロガー & 車載映像 解析
- 15:15～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 15:25～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー：Yuzuki Miura
- 16:00～ ロガー & 車載映像 解析
- 16:20～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 16:35～ フォーミュラ走行枠④ 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 17:10～ ロガー & 車載映像 解析
- 17:30 解散

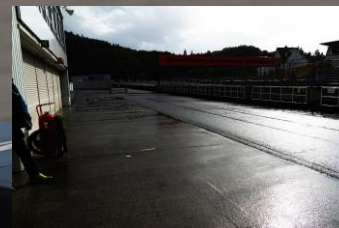


これまでのトップタイムを更新

この日は1期生の三浦と2期生の杉田がトレーニングに参加しました。朝の天候は晴れですが雨雲が所々にあり、読めない天候の中スタートしました。

1セッション目は三浦がドライブ。走り出しから好タイムをマークしていきます。そしてセッション後半には、自己ベストタイムを更新し、杉田の持つスクール生のベストタイムをも上回り、幸先の良いスタートを切りました。1セッション目が終わった直後に激しい雨が降り始めました。路面は一瞬にしてウェットコンディションとなり、レインタイヤに履き替えて2セッション目に備えました。2セッション目は杉田がドライブ。完全フルウェットコンディションの滑りやすい難しい路面で、杉田も恐る恐る走っていました。何度かひやりとする場面が見られましたが、無事に30分を走り切り、貴重なウェット走行での経験ができました。

3枠目は三浦。路面は乾き始めたものの、まだウェットパッチが残る難しいコンディションでした。三浦はウェットタイヤを選択し、コースイン。2周を終えたところで、三浦からドライタイヤへ交換する指示があり、ピットではドライタイヤを準備しました。スリックタイヤで再度コースインした三浦は、無事に30分の走行を走り切りました。4枠目は杉田がドライブ。完全ドライコンディションとなり、三浦のタイムを上回るべく意気込んでいました。しかし朝のウェットの感覚が残っていたのか、ラップタイムが思うように上がらず、結局三浦のタイムを上回ることができませんでした。





21℃

Track
OKAYAMA

Driver
Yuma Sugita

★トレーニングプログラム

- 13:45～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 13:55～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 14:35～ ロガー & 車載映像 解析
- 14:55～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 15:05～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 15:45～ ロガー & 車載映像 解析
- 16:20～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 16:30～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 17:10～ ロガー & 車載映像 解析
- 17:30 解散



トップタイムを取り返す

昨日に続き、杉田がトレーニングに参加しました。前日は三浦のタイムに及ばなかったため、何としてでもそのタイムを上回りトップタイムを奪還したいところです。

この日の天候は晴れ。完全ドライコンディションの中、1セッション目がスタートしました。走り始めるやいなや、前日に三浦が出したタイムをコンマ6秒上回るタイムを叩き出し、トップの座を奪還して1セッション目を終えました。走行後にデータを見直し、自らの遅い部分の修正に入ります。

そして2セッション目がスタート。課題を修正しながらタイムも毎ラップ上がっていきました。そしてついにセッション中盤に1セッション目のタイムを大きく上回るタイムをマークしました。しかし、その直後に攻めすぎた杉田はブレーキングで姿勢を乱しコースオフ。グラベルにつかまり、そのままセッションを終えました。

グラベルの砂がマシンの至る所に入ったため、スタッフ全員でマシンの清掃を行います。3セッション目に何とか間に合い、杉田をコースへ送り出しました。その後は無事に走り切り、この日のトレーニングメニューをすべて消化しました。





21℃

Track
MAISHIMA

Driver
Kamui Hashiramoto/Haein Hwang/Tomo Onohara

★トレーニングプログラム

- 9：45～ 集合（広場現地にて）
- 10：00～ 脱出訓練（5秒以内にマシンから降りる練習）
- 10：15～ ドグミッション慣熟走行① 10分×3名 ロングストレート 3速ギヤまで
- 11：00～ ドグミッション慣熟走行② 10分×3名 ロングストレート 4速ギヤまで
- 12：00～ 昼休憩
- 13：00～ Aコース練習走行① 10分×3名
- 13：45～ Aコース練習走行② 10分×3名
- 14：30～ Aコース練習走行③ 10分×3名
- 15：15～ ロガーチェック
- 15：30～ Aコースタイム計測走行 5分×3名
- 16：00～ ロガーチェック
- 16：15～ コース清掃＆車両ワックスかけ
- 17：00 解散

- School Car -

Super-FJ



全長/全幅 3,935mm/1,700mm
車重：420kg
エンジン：1500cc/130ps/7000rpm
ミッション：ドグミッションHパターン5速
最高速：220km/h

驚異的な成長を見せる3期生

3期生たちの2度目のフォーミュラトレーニングが行われました。ドライバーは柱本翔夢伊（12）、ファン・ヘイン（10）、小野原智（10）の3名が参加しました。

まずは恒例の脱出訓練からこの日のトレーニングがスタートします。まだまだ2回目ということで試行錯誤していますが、前回と比べれば大幅に脱出時間を短縮していました。

脱出訓練を終え、ここから走行トレーニングに入ります。まずは直線区間を使った基礎テクニックのシフト操作とブレーキングを学びます。ここで輝きを見せたのは最年少の小野原。すぐにコツを掴み、自然でなめらかなシフト操作を披露しました。柱本・ファンの2名も午後には徐々に成功し始め、自信を取り戻していきました。

最後のフリー走行を終え、5分間のタイム計測セッションに移ります。この直前の走行では、小野原がトップタイムを記録し柱本とファンが同タイムでそれを追う展開でした。ロガーをチェックし、計測ラップへと入っていました。ここで柱本とファンが自らが遅かった部分を修正し、一気にタイムアップすることに成功します。最後の小野原は、5分間で纏められず、3番目のタイムとなっていました。まだまだ基礎的な部分を学んでいる最中の3期生ですが、もうすでに激しい戦いが始まっています。



DRIVERS PERFORMANCE Gr.1-2

Yuma - SUGITA (13) Best 1.40.887

自己ベストタイムを1秒以上更新した杉田。初日は天候の影響もあり三浦に後れを取るも、翌日にはいきなり好タイムをマークし、その速さを証明しました。またベストタイムに近いタイムを何度も記録し、アベレージも非常に安定しています。



Yuzuki - MIURA (15) Best 1.41.833

自己ベストタイムを更新した三浦。しかし杉田にトップの座を奪われ悔しい結果となりました。部分的に杉田を上回るコーナーもあり、次回こそは負けている部分を修正してくるはずなので、次の三浦に期待です。



Yusuke - OKANO (13) Best 1.45.376

もっと走行時間を稼ぎたかった岡野。自分のミスからほとんど走れず今月のトレーニングが終わってしまいました。この失敗から学び気持ちを切り替えて次に繋げることができるか、次回のトレーニングでそれが問われます。



DRIVERS PERFORMANCE Gr.3



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luce ed ombra



Kamui - HASHIRAMOTO (12) Best 43.871

今回、良い時悪い時の波があった柱本。午前はシフト操作がなかなか上手く行かず出遅れるも、午後からはコツを掴んだのか、成功率が急激に高くなりました。最後のタイムアタックではしっかり纏める走りを心掛け、トップのタイムを記録しました。



Haein - HWANG (10) Best 44.242

今回、苦戦を強いられたファン・ヘイン。シフト操作がどうしても上手く行かず、ミスを連発していました。それでも持ち前の速さは発揮し、最後のタイムアタックでは意地でタイムを残しました。次回のトレーニングでは、今回浮き彫りとなった課題をしっかりクリアさせたいところです。



Tomo - ONOHARA (10) Best 45.865

— 前回のトレーニングから最も成長を遂げたのは間違いなく小野原です。他の2人から遅れ気味だった発進も今回でマスターし、タイムアタック前の走行では3人の中でトップタイムを記録しました。あとは1日の流れを最後までしっかり作ることができれば、トップの成績を収めることができます。



【トレーニングを終えて】

秋に入り、気温も下がり始めタイムが上がり始める時期になってきました。

1期生2期生たちはレーサーとしての上級テクニックを身に着け始め、岡山国際サーキットで確実にレベルアップをしています。

3期生たちは舞洲で2度目のフォーミュラを経験し基礎を学んでいる最中ですが、もうすでに好タイムを記録しレベルの高さを見せ始めています。

この中で実際にプロになれるのは、ほんの一握りの厳しい世界ですが、このスクール内で学び、ライバルたちと競い合い、失敗を経験することで、将来彼らが大人になった時に必ず役に立つ経験を今できているはずです。

Junior Drive講師 白石勇樹



Junior Drive
Shiraiishi Racing School



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luce ed ombra



Junior Drive
Shiraiishi Racing School

